

## 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：伊藤 高

重要物流道路 事業名 主要地方道 <small>かなざわたつるはま</small> 金沢田鶴浜線 (柳田IC <small>やないだ</small> ～上棚矢駄 <small>うわだなやだ</small> IC)	事業 区分 地方道	事業 主体 石川県				
起終点 自：石川県羽咋市柳田町 <small>はくい やないだまち</small> 至：石川県羽咋郡志賀町上棚 <small>はくい し か まち うえだな</small>		延長 9.6km				
<b>事業概要</b> 金沢能登連絡道路は、南北に長い県土を結ぶ骨格道路として県都金沢と能登地域の連絡を強化し、能越自動車道と一体となって広域交流の促進を図る約60kmの高規格道路であり、現道の交通混雑緩和、物流の円滑化、広域交流の拡大を目的とし、4車線化事業を進めている。						
H27年度事業化	都市計画決定なし	H27年度用地着手	H28年度工事着手			
全体事業費	約209億円	事業進捗率	約79%	供用済延長	— km	
計画交通量	16,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 1.4		96/218億円	293/293億円	令和5年	
	(残事業) 3.1	事業費：78/200億円 維持管理費：18/18億円	走行時間短縮便益：277/277億円 走行経費減少便益：13/13億円 交通事故減少便益：2.8/2.8億円			
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.22～1.48(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.80～3.40(交通量±10%) 事業費：B/C=1.24～1.49(事業費±10%) 事業費：B/C=2.60～3.70(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.22～1.44(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.90～4.70(事業期間±20%)						
<b>事業の効果等</b> ・走行速度の向上が図られ、定時性が向上することで、能登地域の定住促進、交流人口の拡大に寄与する。 ・中央分離帯により、物理的に車線を分離することで、安全・安心で円滑な交通が確保される。 ・4車線化区間の拡大により、企業立地の増加及び物流の効率化が期待され、地域の発展と活性化が図られる。						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・「ダブルラダー輝きの美知」構想(H27.3策定)の主要事業に位置付けられている。 ・のと里山海道整備促進期成同盟会が要望を行っている。						
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を妥当と認める。						
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b> 周辺環境等に特に変化はない。						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率100%、事業進捗率約79%						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 早期完了を目指し、橋梁工事及び改良工事、舗装工事を推進していく。						
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 事業間調整により、土砂の運搬距離を短縮し、コスト縮減に努めていく。						
<b>対応方針</b> 事業継続						
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

# 事業概要図

都道府県位置図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。